



院内トリアージの実施について

当院では、夜間・休日または深夜に来院された患者様と救急外来を受診された患者様に対し「院内トリアージ」を実施しております。

院内トリアージとは

救急外来受診の方に対して緊急度・重症度を判定し、より早期に診察が必要な患者から優先して診察する仕組みです。

診察は受付順ではなく、順番が前後することや診察までに時間を要することがありますが、ご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。

救急外来での受付



問診票の記載、体温・血圧などの測定



院内トリアージ



診察



緊急度レベル	カテゴリー	カテゴリー内容
レベル1	蘇 生	生命や四肢の機能を失う恐れがある状態 積極的な治療が直ちに必要な状態 ・心停止、重症外傷、痙攣持続、高度な意識障害、重篤な呼吸障害 など
レベル2	緊 急	潜在的に生命や四肢の機能を失う恐れがあるため、迅速な治療が必要な状態。 医師、または医師の監督下に迅速に医療の介入が必要な状態。 ・心原性胸痛、激しい頭痛・腹痛、中等度の意識障害、抑うつ、自傷行為 など
レベル3	準 緊 急	重篤化し、救急処置が必要になる潜在的な可能性がある状態。 強い不快な症状を伴う場合があり、仕事や日常生活の上で支障がある状態。 ・症状のない高血圧、痙攣後の状態（意識は回復）、変形のある四肢外傷、中等度の頭痛・腹痛、活動期分娩 など
レベル4	低 緊 急	患者の年齢に関連した症状、苦痛と感じる症状。潜在的に悪化を生じる可能性のある症状で、1～2時間以内の治療開始や再評価が望ましい状態。 ・尿路感染症、縫合を必要とする創傷（止血済み）、不穏状態 など
レベル5	非 緊 急	急性期の症状だが緊急性のないもの、および増悪の有無にかかわらず慢性期症状の一部である場合。 ・軽度のアレルギー反応、縫合を要さない外傷、処方・検査希望 など



緊急度評価に基づく再評価

CTASレベル1	治療の継続
CTAS レベル2	15分毎の再評価
CTAS レベル3	30分毎の再評価
CTAS レベル4	60分毎の再評価
CTAS レベル5	120分毎の再評価

ご気分や病状の変化、質問などがございましたら
いつでも受付や看護師にお声掛けください。